



この羽根で しあわせつながる 助けあい

赤い羽根共同募金運動はじまる 10月1日～12月31日

赤い羽根共同募金は、民間の社会福祉事業を支援するため「社会福祉法」に位置づけられ、毎年10月1日から12月31日までの間、全国一斉に展開されています。

この募金は、市内の全小・中学校での児童・生徒への福祉教育などの取り組みや各地域の福祉会、障がい児・者への福祉事業に使われています。今年もみなさんのご理解とご協力をお願いします。

日本で共同募金運動が始まり、今年で79年目になります。この間、社会経済状況も急激な変化をみせ、新型コロナウイルス感染症による様々な影響もあり、人々の生活や意識も変わってきました。このような時でも人々がともに生きていこうという「助けあい」の心は変わらずに、人々の幸せを願って、今年も共同募金運動が始まります。

令和6年度の募金実績額は、938万368円

自治会や町内会など地域住民のみなさんの協力を得て各世帯にお願いする「戸別募金」をはじめ、市役所、学校、福祉団体を対象にクオカードなどの資材を活用する職域募金、学校や病院、公共施設、事業所などでの募金箱による募金などいろいろな方法でお願いしています。

令和6年度、みなさんのご協力で938万368円の募金が集まりました。ありがとうございました。

昨年度に市内で集まった募金は、全て福岡県共同募金会へ送金し、配分委員会などの審査の後、市社会福祉協議会を含む各申請団体などに配分されました。昨年度に集まった募金は「令和6年度共同募金の使いみち（表1）」のよう



助けあいの心

令和6年度の募金の使いみち



社協だより

220号

令和7年10月号

発行
社会福祉法人
宗像市社会福祉協議会

〒811-3437 宗像市久原180
メイトム宗像2階
TEL 0940-37-1300

令和6年度 共同募金の主な使いみち（表1）

昨年度集まった、みなさんからの募金は下記のような活動に活用されています。赤い羽根共同募金は、みなさんのあたたかな気持ちを、具体的な活動につなげていく、「じぶんの町を良くするしくみ」です。これからもご理解とご協力をお願いいたします。

宗像市内で活用したもの	金 額
高齢者の福祉に ●在宅介護者家族の会の支援 ●シニアクラブ連合会への助成金 ●配食サービスボランティアの支援	840,000円
障がい児・者の福祉に ●身体障害者福祉協会の支援 ●あじさいの会への助成金 ●手話講習会への助成金 ●あゆみの会への助成金 ●声の広報配布事業の支援 ●要約筆記ボランティアの支援 ●おもちゃ図書館運営の支援 ●宗像コスモス会への助成金	1,557,000円
ボランティア活動に ●福祉ボランティア活動連絡協議会活動の支援 ●大島地区ボランティア団体への助成金	534,000円
福祉会活動の支援に ●地域住民の自主的な地域福祉活動 ●民生委員児童委員協議会への助成金	2,395,000円
児童・青少年の福祉に ●市内幼稚園、保育園、小中学校、高校への福祉教育推進事業 ●小学校での車いす体験や手話体験などの福祉教育事業	262,000円
子育て支援活動に ●地域福祉文庫連絡協議会の支援 ●NPO法人むなかた子育てネットワークこねっとへの助成金 ●母子寡婦福祉会の支援	219,000円
県内広域で活用したもの	金 額
その他、県内の福祉施設への支援、災害ボランティア活動、福祉に関する情報提供や啓発活動など	3,573,368円

令和6年度 共同募金実績内訳表（表2）

募金箱	199,054円
バッジなど購入による募金	567,609円
各世帯からの募金	8,294,712円
個人募金（振込）など	93,206円
街頭募金	158,594円
自動販売機を活用した募金	67,193円

うに有効に活用されています。共同募金は、募金をした地域で生きる寄付金です。

令和7年度の募金目標額

共同募金は、募金が集まっから使いみちを決める募金ではありません。

事前に地域福祉のための使いみちの計画を立てます。この使いみちの計画に必要な額が「目標額」になります。

今年度の目標額は、昨年度実績と同額の938万368円です。今後も安定、継続して地域福祉事業を行うための「目標額」です。

一世帯 700円の目安額

市全体の目標額を達成するために、「一世帯ではどれだけの金額を協力したらいいか」ということが分かりにくいため、「一世帯700円を目安に協力していただく」と計画されている事業が実施できます」と目安額をお知らせすることになっています。

これは、募金目標額を達成するためにお願いする「目安」ですので、みなさんのできる範囲内のご協力をお願いします。

多くの人に支えられている 共同募金

「共同募金実績額内訳表（表2）」をみると、戸別募金（各世帯からの募金）が共同募金全体の約9割を占め、市内の多くの世帯からの募金に支えられています。

また、地域のいろいろな場面、自治会長や隣組長、事業所や公共施設、福祉団体、学校の先生や児童、生徒のみなさんからの多くの支えで成り立っています。

ひとりひとりの助けあいの心が、地域福祉活動に活用され、より住みよい地域をつ

くつていく原動力となります。みなさんのご理解とご協力をお願いします。

災害等準備金の積み立て

県共同募金会では毎年、県内のための災害等準備金を積み立てています。

近年は災害も多く発生し、災害ボランティアセンターが開設される機会も増えています。この際に災害等準備金が活用され、災害ボランティアセンターの運営を支えました。毎年みなさんからご協力いただいている赤い羽根共同募金が災害ボランティア活動も支えています。

赤い羽根共同募金配分団体紹介

たのしみながら
健康づくり

東郷地区福祉会会長 志岐茂則

東郷地区では、14の自治会ごとに地域福祉活動が行われています。今回は主な取り組みである「サロン活動」と「福祉委員研修」について紹介します。

◆サロン活動

各自治会では、高齢者の皆さんを中心に、公民館などに集まってお茶を飲みながら話をしたり、ゲームを楽しんだり、気軽に交流できる「サロン活動」を実施しています。

活動が盛んな自治会では、真夏と年末年始の時期を除いて、月に1回のペースで開催されています。活動回数が少ない自治会でも、

年に4回程度開催されており、それぞれの地域の事情に合わせた運営がされています。また、特色ある取り組みを行っている自治会もあり、他地域の活動を自分たちのプログラムに取り入れるなど、工夫を凝らし実施しています。しかし、各地域で共通の課題として「参加者が固定化しやすい」という声も聞かれます。現在、新しい参加者を迎え入れるためのアイデアや工夫を検討しているところです。

◆福祉委員研修

東郷地区の福祉活動を支える福祉委員（現在23人）を対象に、地区外での視察研修も行っています。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、令和2年度から令和4年度まで中止となっていました。令和5年から再開されました。

令和5年度は、福岡市の「介護実習普及センター」を訪問し、高齢者の身体的な不自由さを体験することで、日常生活における困難さへの理解を深めました。令和6年度（昨年度）



は、春日市の「生涯あんしん住宅」を見学し、高齢期の住まいや備えの重要性を学びました。研修を通じて、福祉委員一人ひとりが、地域の高齢者支援について、より具体的な視点を持つことができています。

東郷地区の地域福祉活動を支える大切な財源の一つが、「赤い羽根共同募金」の配分金です。皆さんからのご支援により、地域の高齢者の方々が安心して暮らせるような活動が継続できています。今後も、多くの方に喜んでいただけるよう、有意義に活用させていただきます。

●日時 12月14日(日)
午前10時受付／正午解散予定

●場所 メイトム宗像 101会議室

●対象 障がいのある人

●定員 先着10人

●定員に達し次第受付終了

●参加費 500円

(材料、お茶、お菓子代として)

●申込期間 10月31日(金)まで

※詳細は問い合わせを

■問い合わせ先
同センター ☎(34)2411
FAX (34)2422

今回の茶話会では、新しい年を迎える準備としてお正月に飾るしめ縄を作る予定です。

障がいのある人で、レクリエーション活動を通じて仲間づくりをしたい人の参加を待っています。もちろん初めての参加も大歓迎です！



参加者募集のお知らせ

ゆつたり茶話会

第2回 ピアサポート事業

同センターでは、障がいのある人やピアサポーター（障がいのある当事者の相談員）と一緒に活動をするピアサポート事業を開催しています。

障害者生活支援センター

(宗像市役所・北館1F)

土・日曜日 祝日を除く 午前8時30分～午後5時

☎(34)2411 (FAX)(34)2422

メールアドレス aaw09180@hkg.odn.ne.jp

ご寄付 ありがとうございます

【香典返し】(敬称略)

- ・(故)柚木壽生(河東)
- ・(故)中尾テル子(日の里)
- ・(故)花田正幸(田野)
- ・(故)吉田みゆき(村山田)
- ・(故)池本陸夫(日の里)

(令和7年8月31日受付分まで)

市社会福祉協議会では、随時寄付を受け付けています。振込や現金書留等でも受け付けができますので、お問い合わせください。地域福祉の推進のために、ご協力をよろしくお願いします。

社協だよりは、偶数月発行です (年間6回)

社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

宗像市久原180番地メイトム宗像内

☎(37)1300 FAX(37)1393

大島支所 宗像市大島1809番地32

ふれ愛センター内 ☎(72)2294

ホームページ <http://syakyo.munakata.com/>

メール info@syakyo.munakata.com

本会は、むなかたタウンプレスを音にして届ける「声の広報」活動を実施しています

地域福祉文庫

参加者募集

お話し会のご案内

市地域福祉文庫連絡協議会と市社会福祉協議会では、「赤ちゃん絵本」～乳幼児期からの絵本との出会い～をテーマにお話し会を開催します。

昨年引き続き、今回もお子さんといっしょに参加できるお話し会です。お子さんといっしょに豊かな時間をすごしませんか。

- 日時 11月11日(火) 10:00～11:00(受付9:30～)
- 会場 メイトム宗像1階 和室
- 講師 すえまちおひさまおはなしの会 代表 永吉由美子さん
- 対象 お子さんとその保護者
- 定員 15組 ●参加費 無料
- 申込方法 10月31日(金)までに市社会福祉協議会 ☎(37)1300へ申し込む

参加者募集

認知症サポーター

養成講座 開催のお知らせ

誰もが認知症になっても安心して生活できる地域となることを目指して、「認知症サポーター養成講座」を開催します。みなさんもサポーターになって、住みよいまちを一緒につくっていきませんか？

- 日時 11月27日(木) 14:00～15:30
- 会場 メイトム宗像 202会議室
- 参加対象 市内に在住、勤務、通学する人
- 参加費 無料 ●定員 30人(先着)
- 申込方法 電話またはFAXで市社協まで
- 締め切り 11月14日(金)
- その他 受講された方には「認知症サポーターカード」を交付します。

認知症サポーター養成講座とは

認知症に対する理解を深める講座です。(全国キャラバン・メイト連絡協議会に登録された講師が担当します)